

再評価実施事業調査表

番号	6	事業名	広域河川改修事業		路線又は箇所名等		(一) 利根川水系高谷川		
事業所管課		河川整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	平成 10 年度	用地着手年度	平成 年度	工事着手年度	平成 18 年度	再評価の理由	再々評価		
費用便益比 B/C	5.5 (1.9)	総費用 C (現在価値)	79 億円 (34 億円)	総便益 B (現在価値)	432 億円 (64 億円)	基準年	平成 29 年度	供用開始年度	平成 38 年度

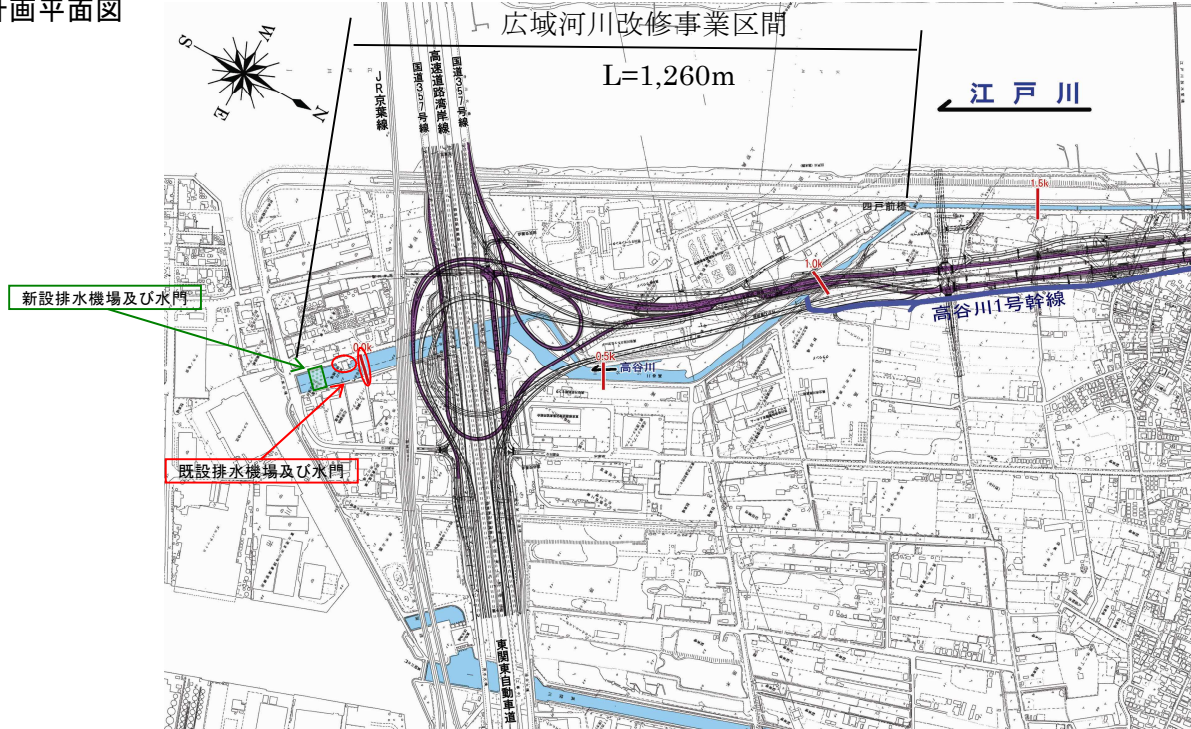
※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

<p>【事業概要】</p> <p>(目的)</p> <p>高谷川流域は、東京湾の朔望平均満潮位より地盤が低い箇所もあり、洪水時には内水被害が発生している。</p> <p>排水機場および水門については、近年の市街化にともなう流出量増と計画潮位の見直しにより計画が見直され、すでに改修（新設）済みである。既設の排水機場および水門については、老朽化のため撤去予定である。</p> <p>また高谷川は、現在建設中の東京外郭環状道路、高谷 JCT の雨水排水の放流先となるため、早急に老朽化した施設や河川の改修を行う必要がある。</p> <p>(主な実施内容)</p> <p>事業計画区間長 1,260m          河道改修 1,160m (高谷川水門 1 基 H22 年度完成、高谷川排水機場 1 基 H26 年度完成)</p>											
<p>【事業の進捗状況】(H29 年度末見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体計画(億円)</th> <th>投資済事業費(億円)</th> <th>進捗率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>80.0</td> <td>42.2</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>					全体計画(億円)	投資済事業費(億円)	進捗率(%)	全体	80.0	42.2	53
	全体計画(億円)	投資済事業費(億円)	進捗率(%)								
全体	80.0	42.2	53								
<p>【社会経済情勢等】</p> <p>①流域状況</p> <p>高谷川は、江戸川と真間川にはさまれた流路延長約 3.8km、流域面積 3.28km<sup>2</sup> の一級河川であり、東京湾に流入する。流域は、住宅地や工業地から構成され、当該市町村の人口も昭和 50 年の 32 万人から平成 20 年の 47 万人と約 1.5 倍に増加し、資産の蓄積が多い。また、東京外郭環状道路や市街地再開発等により、今後も市街化が進む見込みである。</p> <p>流域の地形は、低平でかつての地盤沈下により東京湾の満潮位より地盤高が低い箇所もある。</p> <p>②主な水害状況 <span style="float: right;">[ 裸書：全体事業、( )：残事業 ]</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風 24 号 (昭和 56 年 10 月) 浸水戸数 517 戸、浸水面積 85ha</li> <li>・ 台風 8 号 (昭和 57 年 9 月) 浸水戸数 28 戸、浸水面積 18ha</li> <li>・ 台風 10 号 (昭和 61 年 8 月) 浸水戸数 20 戸、浸水面積 1ha</li> <li>・ 台風 17 号 (平成 8 年 9 月) 浸水戸数 80 戸、浸水面積 85ha</li> </ul> <p>③投資効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水戸数：2654 戸 (902 戸)                      ・ 浸水面積：102ha (43ha)</li> </ul> <p>④その他</p> <p>(計画)・利根川水系江戸川左岸圏域河川基本方針 (H18.2.14 策定)</p> <p>          ・利根川水系江戸川左岸圏域河川整備計画 (H18.12.27 策定)</p> <p>(関連事業)・なし</p>											
対応方針 (案)	<p>高谷川流域では、市街化の進展により流出増が見込まれ、本治水事業への地元からの要望が大きい。全体事業の費用便益 (B/C) は 5.5 (残事業 1.9) となり、事業の投資効果も見込まれることから事業を「継続」し、計画的・効果的な事業の推進を図る。</p>										

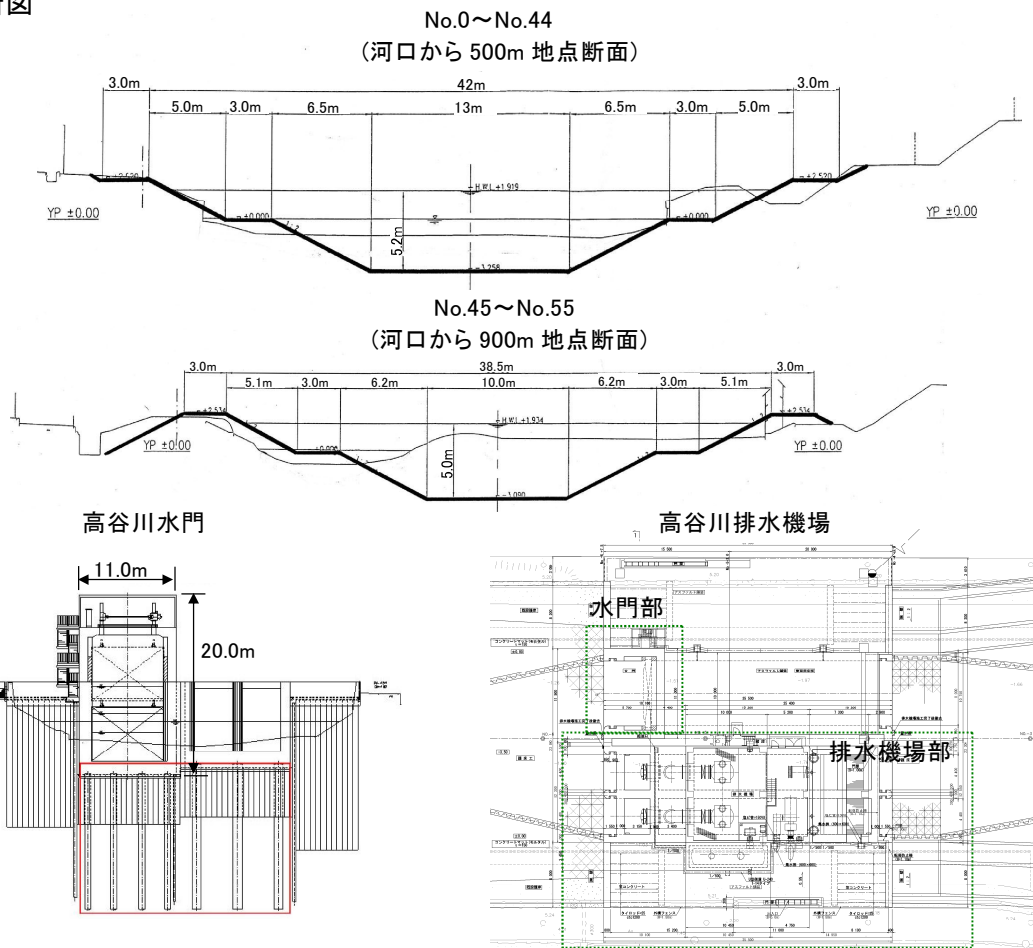
## 事業概要図

番号	6	事業名	広域河川改修事業	路線又は箇所名等	(一) 利根川水系高谷川
----	---	-----	----------	----------	--------------

計画平面図



代表横断面図



【別紙様式5】

## 再々評価事業に関する調書

番号	6	事業名	広域河川改修事業	路線又は箇所名等	(一) 利根川水系 高谷川
事業化年度	平成10年度	用地着手年度	平成27年	工事着手年度	平成18年度
<b>【再評価の概要】</b>					
再評価実施年度 (基準年)	平成24年	供用開始年度	平成38年	対応方針	継続
B/C	— [6.9]	総費用	— [74.8]	総便益	— [516]
( 裸書：残事業、[ ]：全体事業 単位：億円) ※H24年時点での残事業評価は未検討					
<b>再評価時の委員会の意見 及び当時の状況</b> ○継続することが妥当である。					
<b>再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況</b>					
	計 画	進捗状況 (H24)	5年後の推定進捗状況		
事業費	80.0億円	21.1億円 (26%)	47.6億円 (60%)		
うち用地・補償費	1.0億円	0.02億円 (2%)	0.37億円 (37%)		
うち工事費等	79.0億円	21.1億円 (27%)	47.2億円 (60%)		
<b>【再々評価の概要】</b>					
再評価実施年度 (基準年)	平成29年	供用開始年度	平成38年	対応方針	継続
B/C	1.9 [5.5]	総費用	34.4億円 [78.7]	総便益	65.4億円 [433.1]
( 裸書：残事業、[ ]：全体事業 )					
<b>現在の進捗状況</b>					
	計 画	進捗状況 (H29)			
事業費	80.0億円	42.2億円 (53%)			
うち用地・補償費	1.0億円	0.02億円 (2%)			
うち工事費等	79.0億円	42.2億円 (53%)			
再評価後の経過及び処理状況	平成25年1月 第2回高谷川流域懇談会 事業再評価「継続」				